

「数理・データサイエンス・AI教育プログラム」学部別履修モデル

教養教育

1年次以上対象

2年次以上対象

3年次以上対象

4年次以上対象

学部名:医学部(医学科) 1/1

想定対象学生: 1~6年次
修得単位合計: 必修15単位と選択を合わせて合計16単位以上
修了レベル: 応用基礎レベル
履修モデルタイトル: 医学科応用基礎レベルコース
当該履修モデルを通じて学生に学修させたい内容: 医療現場の課題を同定し、研究の計画、実施、統計解析等の分析、考察、公表等を行うことを通じて学生の研究能力を涵養し、医師資格を持った優れた医学研究者(研究医)となること。

想定対象学生: 1~6年次
修得単位合計: 17
修了レベル: 応用基礎レベル
履修モデルタイトル: 医学科コース
当該履修モデルを通じて学生に学修させたい内容: ・今後予想される医療のデジタル化において、数理・データサイエンス・AIを臨床、研究、教育の場で使いこなすことができる基礎的素養を主体的に身に付ける。 ・学修した数理・データサイエンス・AIに関する知識・技能を扱う際に、人間中心の適切な判断ができ、不安なく自らの意志でAI等の恩恵を享受し、これらを説明し、活用できること。

履修学年	科目名	内容番号	単位	修得単位	
4年	社会医学実習	[1][2][3][4][5][オ1][オ7]	1	1	
4年	神経・脳科学	[3][オ9]	2	2	
4年	臨床薬理・EBMと医療	[3][5][オ1]	1	1	
4年	医学統計	[3][5][オ1][オ7]	1	1	
3年	研究室配属	[オ1][オ7]	4	4	
3年	環境保健学	[2][3][4][5]	1	1	
3年	診療情報・臨床研究と医療	[2][3][4][5][オ9]	1	1	
3年	生命倫理学	[4]	1	1	
3年	対人保健学	[5][オ1]	1	1	
以下は選択科目					
1~6年	基礎研究演習(研究医養成プログラム)	[オ1][オ7]	3	3	自由科目
1年	地域の経済と社会・文化	[2][3][オ8][オ9]	2	2	
1年	自然と情報の数理	[オ1]	2	2	自由科目
1年	社会と情報の数理	[2][3][オ1][オ9]	2	2	自由科目
1年	コンピュータの話	[1][2][3][4][オ1][オ2][オ3]	2	2	自由科目
1年	解析学-A	[オ1]	2	2	現在選択必修 R4から必修
1年	解析学-B	[オ1]	2	※	
1年	線形代数学	[オ1]	2	2	
1年	自然現象のモデル化とその解析	[オ1]	2	2	
1年	脳科学入門	[1][オ9]	2	2	
1年	応用情報処理	[1][2][3][5][オ2][オ3]	2	2	自由科目

履修学年	科目名	内容番号	単位	修得単位	
4年	社会医学実習	[1][2][3][4][5][オ1][オ7]	1	1	
4年	神経・脳科学	[3][オ9]	2	2	
4年	臨床薬理・EBMと医療	[3][5][オ1]	1	1	
4年	医学統計	[3][5][オ1][オ7]	1	1	
3年	研究室配属	[オ1][オ7]	4	4	
3年	環境保健学	[2][3][4][5]	1	1	
3年	診療情報・臨床研究と医療	[2][3][4][5][オ9]	1	1	
3年	生命倫理学	[4]	1	1	
3年	対人保健学	[5][オ1]	1	1	
2年					
1年	解析学-A	[オ1]	2	2	現在選択必修 R4から必修
1年	解析学-B	[オ1]	2	※	

必修 「情報処理-B」 内容番号:[1][2][3][4][5][オ1][オ3][オ7] 単位:2